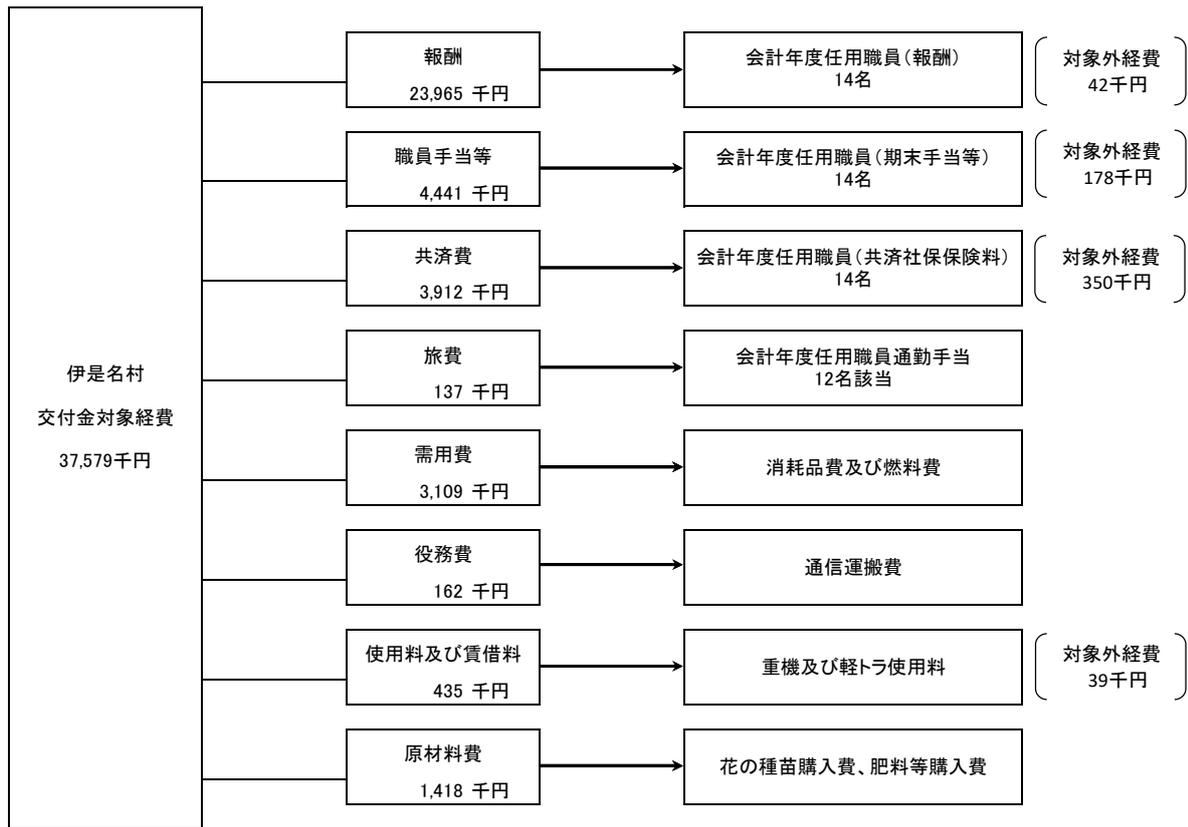


市町村名		伊是名村					
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	観光地等クリーンアップ事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(1)-ウ	
	担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	イ 観光の振興に資する事業等 Ⅲ-1-(1)
事業内容	本村に数多く点在する史跡や文化財を地域資源として活用していくため、村内の各種イベントで使用する会場や観光施設、観光ルート等の草刈り作業や花壇等の環境整備を行い、花木等の植栽など美化活動を行う。						
効果発現年度	■ 当年度 □ 後年度(年度)						
実施方法	■ 直接実施 □ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	54,092	51,220	55,518	55,000	50,235
		(b) 予算現額	64,224	41,470	41,100	34,476	39,353
		(c) 増減額(b-a)	10,132	▲ 9,750	▲ 14,418	▲ 20,524	▲ 10,882
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	64,224	41,470	41,100	34,476	39,353
	B. 執行済額		62,929	39,329	39,791	32,351	37,579
	うち交付金充当額		50,343	31,463	31,833	25,881	30,063
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		98.0%	94.8%	96.8%	93.8%	95.5%
予算の状況の説明		当初の計画では、18人の作業員を想定していたが、最高14名に留まり、更に1名が年度途中で退職となったことに伴い、報酬・手当・共済費が減額となった。また例年同様に悪天候時の作業中止により同科目において減額となった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	花木の植栽及び肥培管理:16カ所		目標 (実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
	緑化除草作業及び海浜清掃:16カ所		実績 実施	実施	実施	実施	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・草刈り機等の機材を使用したA班が担当した作業エリアについては、リーダーを中心に滞りなく作業が実施できた。夏場については熱中症対策として水分補給や休憩を随時入れながら作業を実施した結果、熱中症の被害者はなかった。 ・観光ルート等の花壇の草取り、花木の植栽及び肥培管理、散水についてはB班が担当し、各ポイントを計画的に実施できた。また作業員の尽力により前年度よりも多くの花を長期間生かすことが出来た。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	観光地等の景観形成及び保全について、観光地としてふさわしい景観であると感じるか等を含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケートにより実施する。		目標 ()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績	84%	92%	86%	
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	本事業を客観的にみるため、入域者(観光客)に対し観光地の景観についてのアンケートを実施した。アンケート集計した結果、(問2)観光スポット・公園についてどのように感じたかについて、「きれい」が36%、「ややきれい」が36%、「普通」が18%合算して90%の方がきれいまたは普通だと回答しているため、目標である「景観の維持を図っている」を達成しているといえる。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・夏場の熱中症対策を図りながら実施しているが、年々温暖化が加速し、体感温度的にも想定外の暑さを感じている。事務所の製氷機の氷を利用し、作業員の上昇体温の冷却を行い、熱中症対策を図る。 ・観光地及び観光ルート草刈り及び植栽作業については、計画していた作業の88%から90%は達成できたと感じている。残り10%~12%は特に悪天候による作業中止、さらには想定していた作業員が年度途中で1人退職となり、作業員の減による作業効率が低下した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標は一定の評価をしていただいたものの、さらなる環境美化に努め、季節の花々が咲き、観光客の増加に繋げたい。 ・雨天時の作業中止に伴う、作業効率低下の改善を図るため、土日・祝日に作業実施し作業効率の維持に努める。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に比べ、令和5年度は花が長期間咲いてくれた。作業員の日々の研究努力と季節に合った花を植えることが出来たことによると推測する。次年度以降も日々研究を重ね、村内を花でいっぱいにし、住んでいる人や観光客を和ませたい和ませるよう取り組んで行く。 ・作業員が安心安全で働けるよう、引き続き夏場の熱中症予防対策について、連携を図りながら対応する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
38,188	37,579	30,063	7,516	609



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○会計年度任用職員は公募により雇用を行っており、適正に支出され妥当と認識している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模について当初計画から26%減となっているが、会計年度任用職員が当初の計画どおり雇用できなかったことが原因(募集年齢を70歳未満に限定)
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途は事業目的に即し、必要最小限のものであり、妥当であると考えます。
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	伊是名村
------	------

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-②	いげな尚円王まつり支援事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ウ
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度	沖繩振興基本方針 該当箇所
イ 観光の振興に資する事業等				
Ⅲ-1-(1)				

事業内容
伝統文化の継承と観光客の誘致を図るため、いげな尚円王まつり開催の支援を行う。

効果発現年度 当年度 後年度(年度)

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	7,000				7,000
	(b) 予算現額	7,000				7,000
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
	(d) 繰越額	0				0
	A. 計(b+d)	7,000	0	0	0	7,000
	B. 執行済額	7,000				7,000
	うち交付金充当額	5,600				5,600
	次年度繰越額	0				0
	執行率(%) (B/A)	100.0%				100.0%
予算の状況の説明	計画どおり達成でき、予算執行も適正であった。					

活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況			
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		いげな尚円王まつり開催支援	目標 () () () (開催支援)	実績	
	目標 () () () ()	実績			
達成状況説明	「第24回いげな尚円王まつり」を実施する実行委員会に対し、大会運営に係る舞台の音響・照明・花火・ビジョン・司会・アーティスト・来場者集計・アンケートの実施業務委託の補助を行った。				

成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)	基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)	
		来場者数:2,475人以上	目標 () () () (2,475人以上) ()	実績			1,570人(63%)
	【参考指標】	目標 () () () () ()	実績				
		実績					
進捗状況説明	新型コロナウイルス感染症の影響により4年ぶりの大会開催となったため、各班の業務の見直しや班員確保に苦慮した。しかしアンケート結果を見てみると全体的に満足している来場者が多かったので一定の評価はできると考える。						

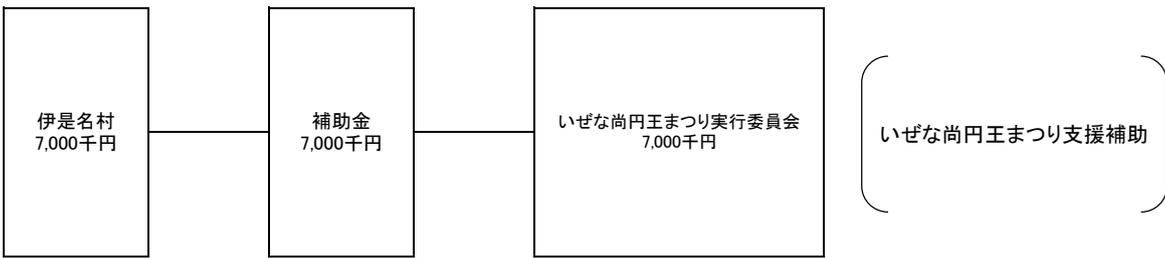
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	4年振りの開催ということで、準備段階のタイムスケジュールの見立てが甘く、準備に大変苦慮した班があった。また、各関係機関への周知も遅すぎた。また、コロナ禍が長く続く中、新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日付けで5類感染症へ移行したことで来場者数も増える見込であったが見通しが不十分であった。	R6年度は関係機関・各班共に早めに準備に取り組みたい。また特設サイトを立ち上げたのでWEB上での周知をしつつ、プログラム充実(村PRや人気アーティスト及びお笑い芸人の起用)を図り来場者者数の増加に繋げる。

今後の取り組み方針

- ①船舶と調整を行い、日帰り日程でまつりを楽しめるよう検討する。
- ②今後は班員の負担軽減を図るため、委託業者へスタッフの確保も含めた委託を検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
7,000	7,000	5,600	1,400	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○実行委員会形式の団体への支出であり、選定については妥当であった。 ○予算規模について、事業内容に見合っており適正であった。 ○費目・使途目的はについて、支出調書・書類による確認を行い適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊是名村
------	------

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-③	いげな88トライアスロン大会支援事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ウ
担当部課名	商工観光課	事業実施 (予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所
				イ 観光の振興に資する事業等 Ⅲ-1-(1)

事業内容
観光客の誘致を図るため、本村一大イベントである「いげな88トライアスロン大会」の開催を支援する。

効果発現年度 当年度 後年度(年度)

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	5,500			5,500
		(b) 予算現額	5,500			5,500
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0
		(d) 繰越額	0			0
		A. 計(b+d)	5,500	0	0	5,500
		B. 執行済額	5,500			5,500
		うち交付金充当額	4,400			4,400
		次年度繰越額				0
	執行率(%) (B/A)	100.0%				100.0%
	予算の状況の説明	計画どおり達成でき、予算執行も適正であった。				

活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況			
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	いげな88トライアスロン大会の開催支援	目標	()	()	()
実績					開催支援
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	「第36回いげな88トライアスロン大会」を実施する実行委員会に対し、大会運営に係る舞台音響や募集・計測業務委託の補助を行った。				

成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)	基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)	
		いげな88トライアスロン大会 参加者の満足度(80%以上)を含め、当該事業のありかたについて、アンケート調査を実施する。	目標	()	()	()	(80%)
	実績					100%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	新型コロナウイルス感染症の影響により4年ぶりの大会開催となったため、募集定員を350名に縮小して開催した。運営ボランティアの確保に苦慮したが安全安心な大会運営ができたことや村民一丸となった応援が選手の高評価を得たと考える。						

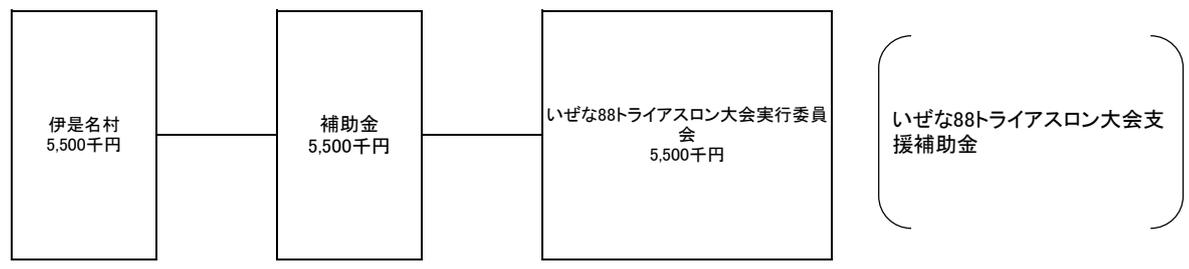
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	人口減少によるボランティア人員不足のため、島外からの継続的なボランティア人員確保や大会開催日が不確定のため開催日の固定を検討する必要がある。	ボランティアツアー又は、ワーケーションなどデジタルノマドと呼ばれる方々へのアプローチができるとボランティア人員不足の解消になると考える。

今後の取り組み方針

- ①受け入れ宿泊者の減少による宿泊難民が発生しないように受け入れ民泊業者の掘り起こし。
 ②村の人口規模に見合った大会となるよう大会形態の変更を検討する必要があると考える。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,500	5,500	4,400	1,100	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	①実行委員会形式の団体への支出であり、選定については妥当であった。 ②予算規模について、事業内容に見合っており適正であった。 ③費目・使途目的はについて、支出調書・書類による確認を行い適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊是名村
------	------

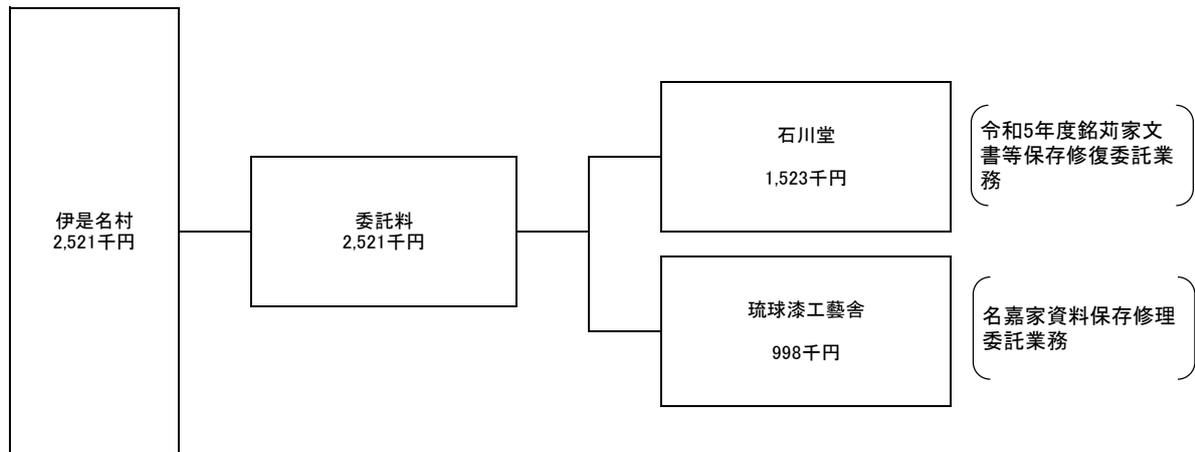
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-④ 「尚円王(金丸)生誕の村」整備事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-7				
担当部課名	教育振興課	事業実施(予定)年度 平成24～令和6年度	沖繩振興基本方針 該当箇所				
事業内容	琉球王国第2尚氏初代国王・尚円王の血族である「銘苅家」「名嘉家」に伝わった旧蔵品について、漆工品、古文書等の分野別に調査を行い、各々の資料にあった方法で修復を行う。これにより、現物資料をより適切な状態で展示・保管することができ、後世へ継承すると同時に観光客の満足度の向上へと繋げる。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	16,064	18,800	18,000	1,339	2,630
		(b) 予算現額	12,172	17,574	18,000	1,339	2,520
		(c) 増減額(b-a)	▲ 3,892	▲ 1,226	0	0	▲ 110
		(d) 繰越額	0	0	0	0	
		A. 計(b+d)	12,172	17,574	18,000	1,339	2,520
		B. 執行済額	12,172	17,574	17,992	1,339	2,521
		うち交付金充当額	9,737	14,059	14,393	1,071	2,016
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明	令和5年度予算については、事業計画通り執行が完了している。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況					
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
	旧蔵品修復の完了	目標	(完了)	(完了)	(完了)	(完了)	
		実績	完了	完了	完了	完了	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	本年度修復対象とした古文書及び漆工品について修復を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)	基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)	
	旧蔵品(復元資料)を活用した祭時への来場者数:80人	目標	()	(250)	(250)	(80)	()
		実績		72	81	150	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	旧蔵品の模造復元資料を用いた催事である、公事清明祭への来場者数の目標値を80人と設定したが、目標を大きく上回る150人の来場となった。新型コロナウイルスへの対処方針が5類へと移行されたことも一因であるが、村広報誌及びホームページでの周知による効果も一定程度評価される。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 旧蔵品の修復については、熟練した技術を有する職人による手作業となることから、作業時間が膨大となるため、計画的且つ継続した事業の実施に取り組む必要がある。 修復した旧蔵品については、文化財として保存を図るとともに、教育現場等の教材として活用することにより、島内の子ども達が生まれた島に誇りをもっていけるような機会の醸成に努め、併せて尚円王ブランドとして本村のPRへ繋げるための方策を積極的に展開していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 旧蔵品の修復については、資料の状態を考慮し優先度の高いものから計画的に事業を実施する。また修復期間を可能な限り多く確保する為、年度開始後、早急に事業者の選定を行う。 保存修理の完了した旧蔵品をはじめとした文化財について積極的な活用・情報発信を図っていくとともに、利活用状況等を適切に把握することで、PR方法や活用方法の見直し等について適宜行えるようになるものと考えられる。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> 修復対象資料の選定にあたっては、事前に必要性、緊急性等を勘案し、翌年度以降にどの品目を修理・復元の対象とするかを事前に検討しておくとともに、劣化具合等を継続的に把握することで、必要に応じて優先度の再検討を行い、事業を実施していく。 修復が完了した資料については、観光資源として展示・公開に供すると共に、地域における文化財への意識高揚を図る取り組みへ活用する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,521	2,521	2,016	505	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 当該業務については、業務の技術的特性から一社随契により選定した。 予算規模については、事業内容に見合った適正な規模であったと考える。 実績により成果物、書類等を精査し、委託料を確定しており妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		伊是名村					
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	伊是名モータースポーツ支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-7	
	担当部課名	建設環境課	事業実施 (予定)年度	平成26～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)	
事業内容	観光誘客を促進するため、場外離着陸場を活用した新たなイベント事業として、モータースポーツ大会を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	13,663	5,001		5,162	5,443
		(b) 予算現額	6,531	1,193		5,162	5,285
		(c) 増減額(b-a)	▲ 7,132	▲ 3,808	0	0	▲ 158
		(d) 繰越額	0	0		0	0
		A. 計(b+d)	6,531	1,193	0	5,162	5,285
	B. 執行済額		4,547	1,188		4,056	4,539
	うち交付金充当額		3,637	944		3,245	3,631
	次年度繰越額		0	0		0	0
	執行率(%) (B/A)		69.6%	99.6%		78.6%	85.9%
予算の状況の説明		当初と比較し競技車両の輸送費用が想定を下回った事による余剰分を変更申請にて削減したため、前年度と比べ執行率が向上した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	ドラッグレース大会の開催	目標	(1)	()	(2大会)	(2大会)	
		実績	1		2大会	2大会	
	ジムカーナ大会の開催	目標	(0)	()	(1大会)	(1大会)	
		実績	0		1大会	1大会	
達成状況説明	・活動目標のドラッグレース及びジムカーナ大会の開催を達成することができた。 ・今年度においては、新型コロナウイルス感染症法上の位置づけが5類に位置づけられたことにより、行動制限などが緩和され、大会の参加数や、開催を達成する要因となったと考えられる。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
	来場者数:754人	目標	()	()	(453人)	(754人)	()
		実績			920人	765人	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	今年度においても来場者数目標値である754人を上回ることができた。 ただし、結果的に前年度と比較し来場者数が減少しているため、大会の知名度の向上やこれまで以上の広報活動が必要になると考えられる。					

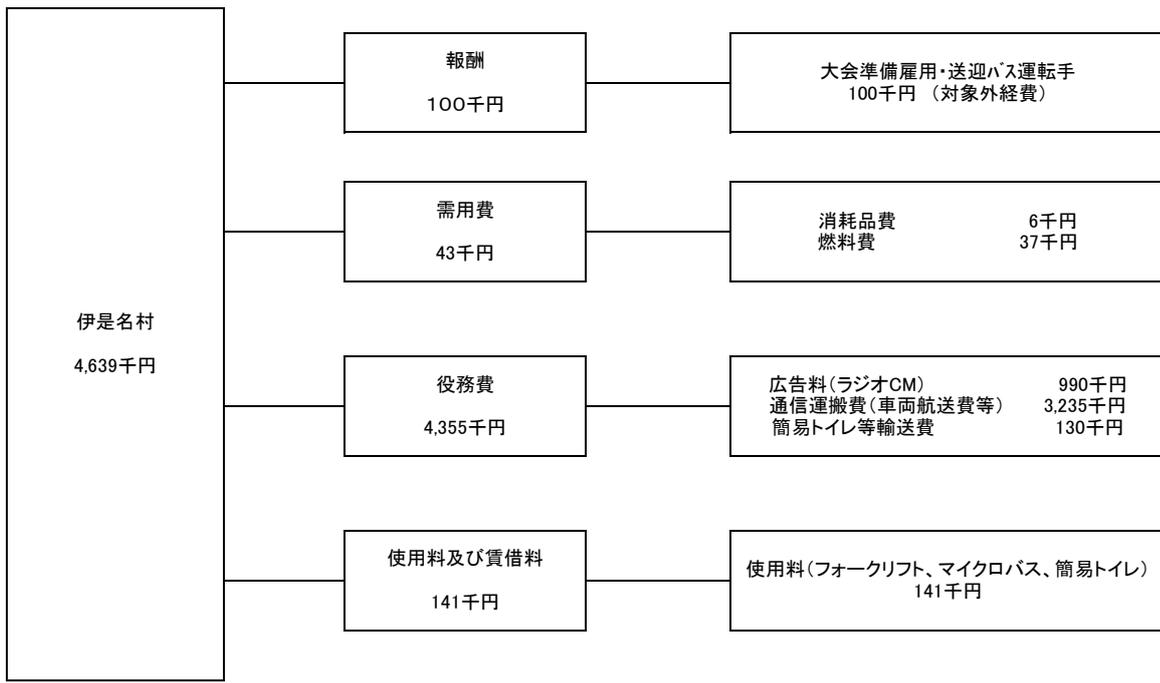
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・観戦しやすい取組として村営フェリーの臨時便にて日帰りできる環境を整えるなど引き続き実施していく。 ・大会期間中は大勢の方が入村するため、交通事故などの防ぐため通行対策など大会事務局側と調整する必要がある。 ・観戦者の増加を図る対策をとる(広告手法の検討)必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会場が場外離発着場であり、アスファルト熱などで、夏場は熱中症などの体調不良の参加者や観戦者へ対応するため、救護スペースの確保など応急救護の体制を整えていく。 ・観戦者の増加を図るため、飲食店誘致などサブイベントの開催などを事務局側と調整し誘客につなげていく必要がある。

今後の取り組み方針

- ・前年度と比べ大会来場者数が減少した結果を踏まえ、各大会の開催数や開催時期、大会期間中の運営方法、大会前後の広告周知方法などを事務局と調整し検討する。
- ・大会周知方法としてSNSを活用し誘客に努めていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,639	4,539	3,631	908	100



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○村の例規等に沿った選定している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業内容に見合った適切な規模であったと考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途目的について、支出調書・書類により確認を行い適切であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊是名村
------	------

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑧ 伊是名海岸環境整備事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ウ
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度 令和3~令和7年度	沖繩振興基本方針 該当箇所
		イ 観光の振興に資する事業等	
		Ⅲ-1-(1)	

事業内容
「伊是名海岸」(通称:伊是名ビーチ)の周辺環境を整備することで、村民や観光客等に対し、快適な施設を提供するだけでなく、緑あふれる癒やしの景観づくりを推進することで、観光振興及び活力に満ちた地域振興に繋げるため、本年度は、管理道路整備工を実施する。

効果発現年度 当年度 後年度(年度)

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額			4,664	13,827	59,026
	(b) 予算現額			4,664	13,827	51,898
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	▲ 7,128
	(d) 繰越額			0	0	0
	A. 計(b+d)	0	0	4,664	13,827	51,898
	B. 執行済額			4,620	13,827	51,898
	うち交付金充当額			3,696	11,061	41,518
	次年度繰越額			0	0	0
	執行率(%) (B/A)			99.1%	100.0%	100.0%
	予算の状況の説明	当初予算どおり、計画的に事業執行できた。				

活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況			
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		伊是名海岸環境整備工事を実施する	目標 ()	(基本計画策定)	(実施設計)
	実績		完了	完了	完了
	目標 ()	()	()	()	
	実績				
達成状況説明	伊是名海岸は、本村の一大イベントである「いげな88トライアスロン大会」のスイム会場となっており、大会開催前までには工事完了する必要があることから、伊是名海岸環境整備工事R5を早期発注し、予定どおり大会開催前までに工事完了できた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)	基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)	
		伊是名海岸環境整備工事の完了	目標 ()	(基本計画策定)	(実施設計)	(実施工事)	()
		実績		完了	完了	完了	
	【参考指標】	目標 ()	()	()	()	()	
	実績						
進捗状況説明	工事期間中変更協議はあつたものの、随時、受注業者と連携とつていたためスムーズに工事遂行できた。						

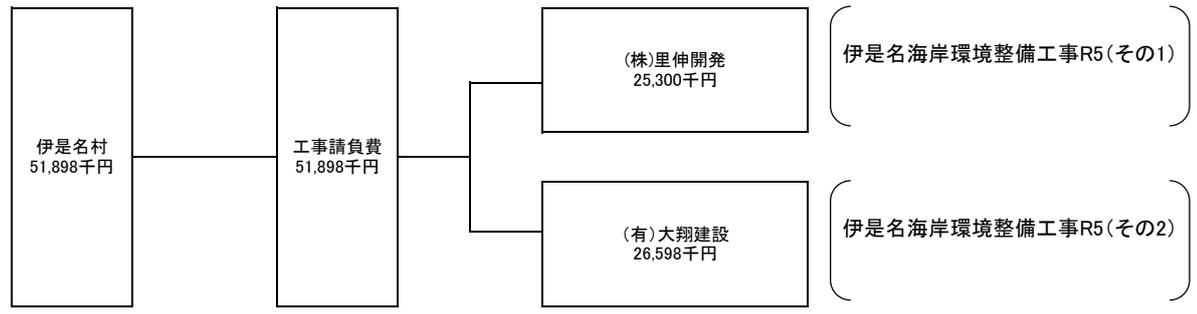
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	伊是名海岸は、行楽シーズンになると多くの観光客がキャンプや海水浴を楽しむために訪れることから安全面に十分配慮することが求められる。	カラーコーンやバリケード表示することや夜間においては点滅式表示版を使用し、利用者に注意喚起する。

今後の取り組み方針

本施設は、村民や多くの観光客等に利用される人気スポットであるほか、いげな88トライアスロン大会のスイム会場である。休憩所やベンチ設置などの利便性向上や景観づくり、イベント時においても利用しやすい施設になるよう取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
51,898	51,898	41,518	10,380	0



資金の流 用途の流 れ、費目 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	①受注業者は、指名競争入札で選定しており、妥当だと考える。 ②不用額は0%であり、適正な規模であった。 ③費目・用途は、工事請負費のみであり目的に即し、必要なものであった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊是名村
------	------

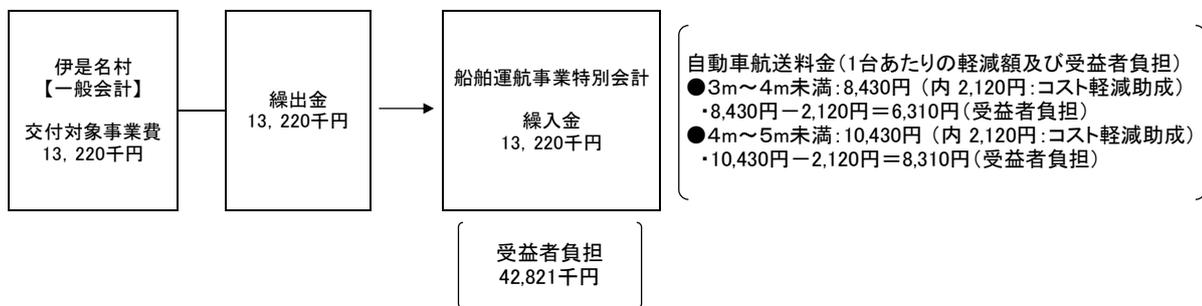
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-① 伊是名村自動車航送コスト負担軽減事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-7				
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度 平成24～令和13年度	沖繩振興基本方針 該当箇所 Ⅲ-9-(2)				
事業内容	離島の不利性を解消し定住促進を図るため、沖縄本島の今帰仁村運天港と本村を結ぶフェリーの自動車航送運賃を軽減する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> その他(繰出金)						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	13,117	13,026	12,549	12,175	11,227
		(b) 予算現額	13,115	10,636	11,094	12,197	13,504
		(c) 増減額(b-a)	▲ 2	▲ 2,390	▲ 1,455	22	2,277
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	13,115	10,636	11,094	12,197	13,504
		B. 執行済額	13,115	10,375	10,257	12,196	13,220
		うち交付金充当額	10,492	8,300	8,205	9,757	10,576
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	100.0%	97.5%	92.5%	100.0%	97.9%
	予算の状況の説明	コロナ感染症に関する渡航自粛等の規制が緩和されたことより、利用者がコロナ禍前の水準に回復したため、当初計画を上回る実績となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況					
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
	自動車航送コスト支援の実施	目標	(負担軽減)	(負担軽減)	(負担軽減)	(負担軽減)	
		実績	負担軽減	負担軽減	負担軽減	負担軽減	
達成状況説明	目標	()	()	()	()		
	実績						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)	基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)	
		目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
	実績		93.2%	89.3%	90.6%		
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	年度当初から事業を開始し、月毎に利用者数の把握した。事業完了後は村民へのアンケートを実施し、事業の効果等の検証を行った。アンケート結果からも本事業が村民の負担軽減に繋がっていることがわかり、事業の継続を図っていく必要がある。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・本事業は村民を対象に行っているが、郷友会等へ事業規模拡大してほしいとの声がある。</p>	<p>・村民以外への事業拡大については、本事業の本質を保持しながら関係機関との意見交換等検討していく必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・郷友会等への事業拡大については、関係者の意見を聞きながら配当予算規模等も勘案しながら検討していく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
56,041	13,220	10,576	2,644	42,821



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○フェリーが唯一の沖縄本島と本村を結ぶ航路であり、その運航を掌るのが船舶運航特別会計である。よって本事業の支出先として妥当である。</p> <p>○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。</p> <p>○受益者である村民の負担軽減を図るにあたり、事業内容・積算から判断し妥当であった。</p> <p>○費目・用途について精算段階で精査しており、目的に即したものと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊是名村
------	------

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-② 定住促進住宅整備事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-4-(4)-イ
担当部課名	建設環境課	事業実施(予定)年度 平成30～令和5年度	沖繩振興基本方針 該当箇所
		第4章-4-(4)-イ 夕離島の振興に資する事業等	
		Ⅲ-9-(2)	

事業内容: Iターン・Uターンによる移住者の定住促進を図るため。

効果発現年度: 当年度 後年度(年度)

実施方法: 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	101,000	126,000	16,000	87,000	80,000
		(b) 予算現額	61,850	126,000	16,000	84,000	77,805
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 39,150	0	0	▲ 3,000	▲ 2,195
		(d) 繰越額	0	0	0	0	▲ 52,461
		A. 計 (b+d)	61,850	126,000	16,000	84,000	25,344
		B. 執行済額	59,739	126,000	11,990	76,033	25,344
		うち交付金充当額	46,475	100,800	9,592	59,249	20,275
		次年度繰越額	0	0	0	0	52,461
		執行率 (%) (B/A)	96.6%	100.0%	74.9%	90.5%	100.0%
		予算の状況の説明					

活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況			
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		建築工事(勢理客地区)整備	目標 (建築工事)	(外構工事の実施)	(建築工事)
	実績	建築工事完了 仲田2棟目、内花1棟目	外構工事の完了	建築工事完了 内花2棟目	R6へ繰越
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明					

成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)	基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)	
		目標	()	(外構整備)	(建築工事)	(建築工事)	()
		実績		完了	R5へ繰越完了	R6へ繰越	
		目標	()	(仲田区:1人)	()	()	()
	実績		仲田1号 (1人入居)				
進捗状況説明							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
今後の取り組み方針		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">総事業費</th> <th style="text-align: center;">交付対象 事業費</th> <th style="text-align: center;">交付金 充当額</th> <th style="text-align: center;">市町村 負担金</th> <th style="text-align: center;">交付対象 外経費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">0</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	0			0	
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
0			0											

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊是名村
------	------

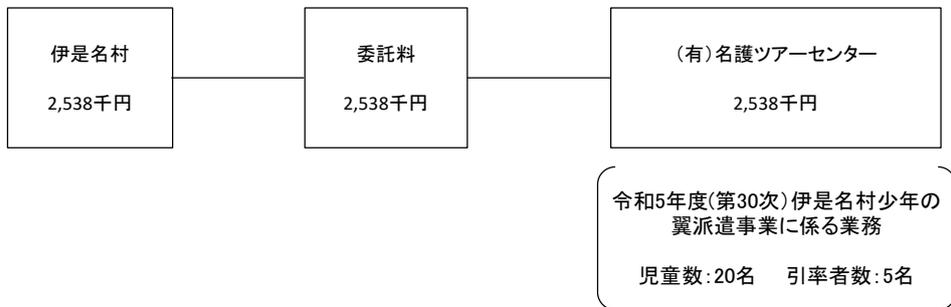
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-① 人材育成事業(日高小との交流事業)	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ウ				
担当部課名	教育振興課	事業実施(予定)年度 平成24~令和13年度	沖繩振興基本方針 該当箇所 Ⅲ-3-(1)				
事業内容	伊是名小学校6年生を北海道日高町への派遣を実施した。北海道の歴史や文化、暮らしを学び、体験する事で広い視野と協調の精神を養う事を目的に交流学习、体験学習を実施した。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	(a) 当初予算額	1,540			1,575	3,275	
	(b) 予算現額	1,506			1,575	2,538	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 34	0	0	0	▲ 737	
	(d) 繰越額	0			0	0	
	A. 計(b+d)	1,506	0	0	1,575	2,538	
	B. 執行済額	1,506			1,472	2,538	
	うち交付金充当額	1,204			1,177	2,030	
	次年度繰越額	0			0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%			93.5%	100.0%	
予算の状況の説明	入札残の1,237千円を第3回変更で減額した。9月に業者選定を行い、予定通り2月に派遣を実施した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況					
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
	日高小学校との交流・体験学習の実施 ・伊是名小学校6年生:児童 20人 ・引率5人	目標 ()	()	(児童10人引率5人)	(児童20人引率5人)		
		実績		児童10人引率5人	児童20人引率5人		
達成状況説明	当初計画どおり6年生20人、引率5人の派遣を実施した。日高小児童との交流体験や、北海道での暮らしや自然を体験する事が出来た。また、島内での交流体験報告会を開催し、保護者、地域の方へ体験発表や、感想文、写真の展示等を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)	基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)	
	児童の協調の精神等の向上についてまとめた報告書の作成	目標	()	(-)	(作成)	(作成)	()
		実績		-	作成	作成	
	保護者へのアンケートで、県外での交流により、児童の視野が広がったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検討する。	目標	()	(-)	(80%)	(80%)	()
実績			-	90%	85%		
進捗状況説明	北海道派遣での交流・体験の実施状況や交流会の様子がわかる報告書を作成し、村関係者や保護者にむけた報告会を行った。6年生児童が発表し、グループ毎に沖縄との違いや、交流体験の感想等を発表した。保護者へのアンケートを実施して、「人材育成事業(日高小との交流)により、児童の視野が広がったと感じたか」という質問に対し、大きく広がった・広がったと8割以上の保護者からの回答をいただいた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・出発時に村有船が欠航することも考え、前乗りも検討していたが、予定した日程どおり出港することができた。 ・沖縄と北海道と環境が全く違うため、事前に危険予知活動などの安全対策を留守必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や保護者と連携を図り、事業の内容や進捗状況等の共通理解を図る。 ・日高小とのZOOM等で事前に交流を行い、互いの友情をを深めることで、派遣時の交流をより充実したものにしていく。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・離島という地域性から容易に他校との交流が行えないことから、永年継続してきた日高小との交流事業は、北海道の自然や文化、北国の生活を体験できるということで、子ども達の視野を広げ、将来の進路選択にも役立つものと考えられる。 ・日高小学校、伊是名小学校6年生を対象に、互いの地域を訪れる相互交流事業として実施する。日高小学校は11月頃、伊是名小学校は2月頃日高小学校を訪れ、ウインタースポーツ体験や学校訪問を行い、その中で伝統芸能等を相互に紹介し、それぞれの地域の自然や文化について学んでいく。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,538	2,538	2,030	508	0



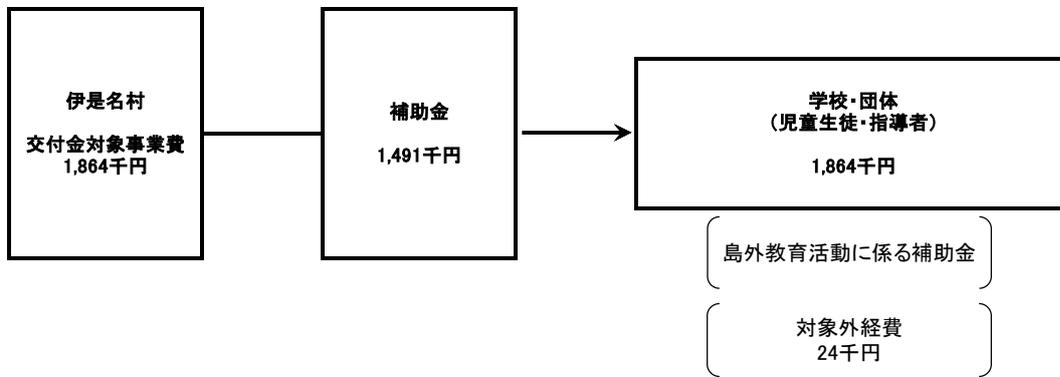
資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は例規に則った選定となっており妥当と考える
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、事業内容を勘案して適切なものであったと考える
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○あらかじめ受益者負担として保護者負担経費を設けていることから応分の負担がなされており、妥当と考える
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については確定時において支出等に関する資料より確認適切であった。

市町村名		伊是名村					
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	児童生徒島外諸教育活動支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-ウ	
	担当部課名	教育振興課	事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	へ人材の育成に資する事業等
事業内容	島外の児童との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせることを目的として、島外で開催されるスポーツ大会や文化事業発表会に参加する児童生徒に対し、渡航費を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,180	2,150	2,150	2,150	2,450
		(b) 予算現額	2,180	800	1,150	2,150	2,450
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 1,350	▲ 1,000	0	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	2,180	800	1,150	2,150	2,450
	B. 執行済額		1,785	639	1,043	1,915	1,864
	うち交付金充当額		1,421	622	825	1,532	1,491
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		81.9%	79.9%	90.7%	89.1%	76.1%
予算の状況の説明		本年度は、小学校バレーボールクラブ・中学校サッカー部・中学校陸上部の3団体については、当初予定していた練習試合の回数等が減ったため全体の予算執行率77%となり昨年度と比較して12.1%の減少となったが、他団体については概ね予定どおり執行することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	島外教育活動への派遣費の支援 活動団体数:8団体		目標 (島外諸教育活動への派遣支援)	(島外諸教育活動への派遣支援)	(島外諸教育活動への派遣支援)	(島外諸教育活動への派遣支援)	
			実績 島外諸教育活動への派遣支援	島外諸教育活動への派遣支援	島外諸教育活動への派遣支援	島外諸教育活動への派遣支援	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	児童生徒が島外諸教育活動に参加するため、離島という地理的条件のために生じる経費(船賃、宿泊費の一部)各団体に支援することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をする事ができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。		目標 ()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績	93.0%	94.0%	93.0%	
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	児童生徒を島外派遣することで競技力向上や島外児童生徒と交流することによるコミュニケーション能力の向上にも繋がると考える。また、保護者アンケートを実施した結果、保護者の方が93%の割合で「島内ではできない経験をする事ができた」と回答しており昨年度に比べ1ポイント下回ったが目標を達成することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・昨年度に引続き、保護者からの意見として宿泊費用について上限2,500円としているが実費精算での支援はできないかとの要望がある。</p>	<p>・宿泊費等の支援については、補助の考え方及び他市町村の派遣事業を参考に慎重に進める必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・R5年度の成果目標について、保護者アンケート調査及び指導者との聞き取り調査等も実施した上で本事業のあり方について検証していく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,888	1,864	1,491	373	24



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助対象者については交付要綱等に従って決定しており、支出先の選定方法は妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、派遣人数等に応じたものであり、適正な規模であったと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○渡航費及び宿泊費(上限有り)が主な補助対象経費となっておりその他は個人の負担となっていることから、受益者との負担関係は妥当と考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。

市町村名	伊是名村
------	------

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-③ 幼稚園預かり保育支援事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(2)-7
担当部課名	教育振興課	事業実施(予定)年度 平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所
			へ人材の育成に資する事業等
			Ⅲ-3-(2)

事業内容	預かり保育を実施し、保護者における育児負担軽減を図る。
------	-----------------------------

効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)
--------	---

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()
------	--

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	2,869	3,200	3,237	2,808	3,959
	(b) 予算現額	1,469	2,482	2,279	2,808	3,134
	(c) 増減額(b-a)	▲ 1,400	▲ 718	▲ 958	0	▲ 825
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)	1,469	2,482	2,279	2,808	3,134
	B. 執行済額	1,353	2,258	2,027	2,686	3,110
	うち交付金充当額	1,060	1,807	1,562	2,149	2,488
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	92.1%	91.0%	88.9%	95.7%	99.2%
予算の状況の説明	当初の預かり保育士勤務日数及び期末手当等の金額に差異が生じることが予想されたため、825千円減額した。					

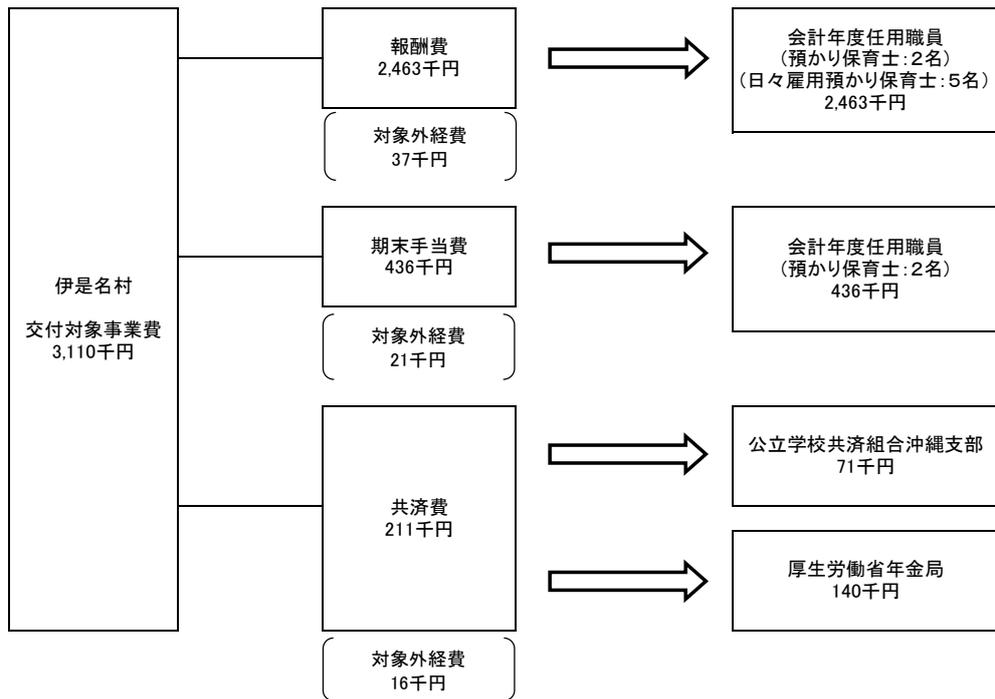
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況			
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		預かり保育士の雇用:2名	目標 (1名)	(2名)	(2名)
	実績	1名	2名	2名	2名
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	預かり保育士の急な休み等がある場合については、代替保育士(日々雇用者)を5名雇用し、常時2名態勢で預かり保育を実施することができた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)	基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
		保護者への事後アンケートを行い、預かり保育の実施により育児負担軽減を感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標 ()	(80%)	(80%)	(80%)
		実績	91%	100%	100%	
	【参考指標】	目標 ()	()	()	()	()
		実績				
進捗状況説明	「預かり保育を行う事で育児負担軽減につながったか」の事後アンケート調査に回答のあった保護者の中で、「満足」「概ね満足」と回答した割合が合計で100%を占めた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>預かり保育士の急な休み等による預かり保育運営を防ぐため、代替保育士(日々雇用者)を雇い、預かり保育を円滑に実施した。 賃金の引き上げに伴い、報酬、期末手当及び共済費について遡及を行った。</p>	<p>・本事業実施後の事後アンケートにより、保護者の育児における負担の軽減に繋がったとの回答が確認できた。今後とも、保護者における意見・要望等を積極的に取り入れ、保護者における育児の負担軽減に繋がっていきたい。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・本事業について、保護者の育児の負担感が軽減されたか保護者にアンケート調査を実施し、事業効果を確認することができた。今後も保護者の意見や要望を参考に、利用しやすい環境づくりを図っていく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,184	3,110	2,488	622	74



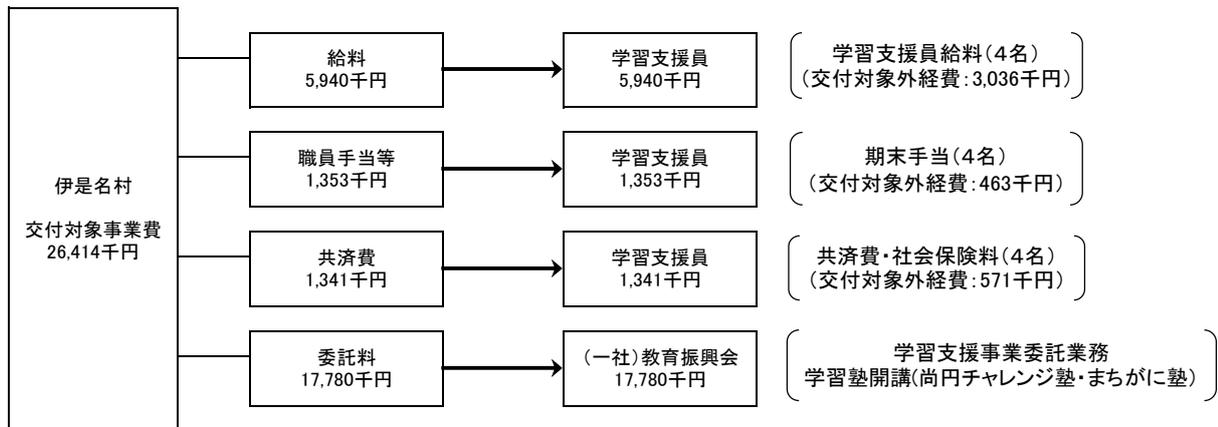
資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先は本村であり、妥当であったと考える。 ○執行率99.2%となっており、予算規模は適正であったと考える。 ○費用、用途については目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊是名村					
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-④ 学習支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第4章-5-(1)-イ		
	担当部課名	教育振興課		事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	へ人材の育成に資する事業等
事業内容		児童生徒の学力向上及び学校生活や学習上の困難の改善を図るため、村営学習塾及び放課後教室の開講、学習支援員を配置する。					Ⅲ-3-(1)
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		(a) 当初予算額	26,792	28,327	32,870	30,393	31,359
	(b) 予算現額	26,792	26,106	25,208	30,393	27,828	
	(c) 増減額(b-a)	0	▲ 2,221	▲ 7,662	0	▲ 3,531	
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0	
	A. 計(b+d)	26,792	26,106	25,208	30,393	27,828	
	B. 執行済額	26,562	22,322	23,979	26,088	26,414	
	うち交付金充当額	20,626	20,494	18,445	20,870	21,131	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	99.1%	85.5%	95.1%	85.8%	94.9%	
予算の状況の説明		当初、学習支援員4人体制で配置予定していましたが、人員確保ができず3人の配置に至ったため、当初予算を下回ることとなったが、塾の運営に関しては計画どおり執行することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	学習支援員の確保:4人	目標	(3人)	(4人)	(4人)	(4人)	
		実績	3人	4人	4人	3人	
	週3日程度の学習塾を開講	目標	(週4日)	(週4日)	(週3日)	(週3日)	
		実績	週3日	週3日	週3日	週4日	
達成状況説明		今年度は、学習支援員については目標である4人を配置予定してましたが3人の配置に至ったが、教育活動支援及び学習に遅れのある児童を中心に教員と連携し支援を行った。学習塾については、民間事業者へ公募型プロポーザルを実施し業者選定を行い目標の週3日から週4日開講することができ、12月～3月までの期間は中学3年生を中心に週5日間開講して受験強化期間に取り組むことができ全員合格に繋がった。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	平成29年度～令和3年度までの沖縄県学びのたしかめ調査での村と県の平均正答率の差 小学校 -11.6ポイント以上	目標	()	(-11.4ポイント以上)	(-13.3ポイント以上)	(-11.6ポイント以上)	()
		実績		-4.1ポイント	-2.1ポイント	-11.9ポイント	
	平成29年度～令和3年度までの沖縄県学びのたしかめ調査での村と県の平均正答率の差 中学校 -4.9ポイント以上	目標	()	(-1.1ポイント以上)	(-1.2ポイント以上)	(-4.9ポイント以上)	()
		実績		-14.0ポイント	-8.4ポイント	-31.0ポイント	
	進捗状況説明		①小学校-11.9ポイントで目標未達成、②中学校-31.0ポイントで目標未達成。				

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 塾を開校後、学力テスト等を行い、その結果を分析し児童生徒の個々にあった個別学習メニューを取り入れ、その内容確認など学校と塾で連携して取り組む必要がある。 学習支援員については、3人の支援員を配置し学習支援活動に取り組むことができたが、各教科で苦手としている児童生徒を中心に支援を行う必要がある。 児童生徒を対象とした県学力到達度調査において、県の平均正答率に小学5年生及び中学1年生が県平均を上回ったが、小学4年生(-5.0ポイント)小学6年生(-30.7ポイント)中学2年生(-31.0ポイント)で大きく下回ったため目標達成に至らなかった。調査・分析の結果、小学校では算数、中学校でも数学が県平均正答率を大きく落ち込んでいることが要因であった。 	<ul style="list-style-type: none"> 昨年同様に学年によっては学力のバラつきがあり、このバラつきを小さくするためには継続した学習支援が有効と考えるが、その学力の底上げを行うためにも児童生徒の個別学力を徹底的に分析し、苦手な教科を中心に個別指導を実施して学校・保護者・行政・委託業者の4者で連携して取り組むことが必要と考える。 令和5年度の成果目標の結果を踏まえ、学校と塾で連携し特に算数及び数学を中心にテスト対策等を実施する必要がある。
	今後の取り組み方針	
<p>令和5年度は、村営塾を開塾することで民間の高い指導力と充実した内容で実施することができ高校入試合格率100%達成することができたが、昨年度に引き続き夏休み期間及び冬休み期間を利用し、受験生を対象に受験合宿を年2回実施して他校の生徒と受験合宿を行うことで競争意識の向上を図っていく。また、学校・塾・家庭・教育委員会の4者で連携し生徒個々の学習能力を把握した上で生徒にあった学習メニューの立案など検討し学力向上に取り組む。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
30,484	26,414	21,131	5,283	4,070



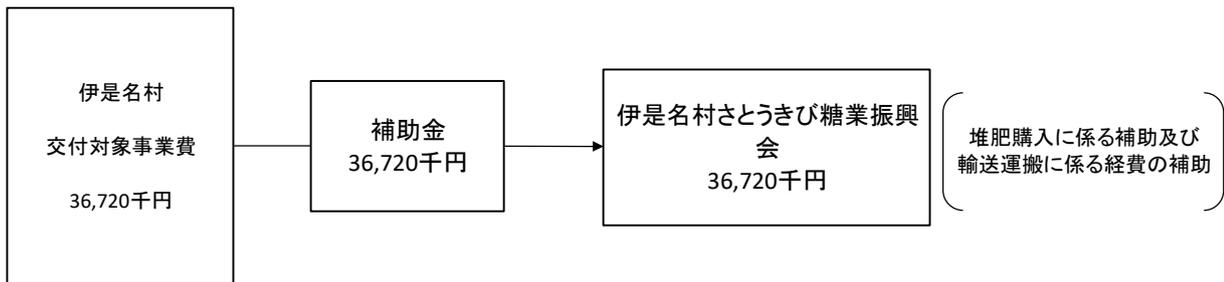
資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については村の例規に則って選定しており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模についてもほぼ見込みどおり執行し、適正である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要な経費となっており、毎月の報告書等により確認、適正と考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊是名村					
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-① 伊是名村土づくり支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第4章-3-(7)-7		
	担当部課名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成24年～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	ハ 農林水産業の振興に資する事業等	
事業内容		安定的な有機堆肥の供給による土づくりの促進及び、農作物の生産性の向上を図るため、沖縄本島からの堆肥購入費用及び輸送費用を支援する。					
	効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
		(a) 当初予算額	34,128	36,940	37,070	35,640	37,600
	(b) 予算現額	34,433	35,640	35,880	35,640	36,720	
	(c) 増減額(b-a)	305	▲ 1,300	▲ 1,190	0	▲ 880	
	(d) 繰越額	0	0	0	0		
	A. 計(b+d)	34,433	35,640	35,880	35,640	36,720	
	B. 執行済額	34,433	35,640	35,860	35,640	36,720	
	うち交付金充当額	27,546	28,512	28,688	28,512	29,376	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	99.9%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		輸送費2,000tの概算見積と実施見積に差額があり、880千円の不用額が生じ第2回変更申請において減額を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況					
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
	堆肥導入数量:2,000t	目標	(2,000t)	(2,000t)	(2,000t)	(2,000t)	
		実績	2,000t	2,000t	2,000t	2,000t	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	当初は12月末までの導入予定がコロナの影響により人手不足や雨天による熟成に期間を要したため導入予定が遅れることになったが1月末までには導入を終えることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
			目標	()	(5,500kg)	(6,600kg)	(6,600kg)
	さとうきびの反収:6,600kg	実績		6,069kg	5,627kg	4,840kg	
		目標	()	()	()	()	()
	【参考指標】	実績					
進捗状況説明		目標反収である6,600kg。過去5年平均5,502kgに対して、本年度は例年より台風の襲来が多く生育に影響があったことにより、実績が4,840kgと大幅に減になっている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>植付準備等の期間にあわせて配布を行うように対応する必要がある。その際に梅雨等の時期を考慮し配布を行う必要がある。 配布について配布予約等をしっかり管理し円滑に配布できるよう対応する必要がある。 例年よりも台風の襲来が多く成育に影響があった。</p>	<p>雨天等による流失防止に対する対策を行い増産を図る。 配布予約を管理し、さとうきび刈取後即配布できるよう対策をとる。</p>
今後の取り組み方針		
<p>関係機関で情報を共有し、災害に強い作物の生産及び、生産量の増加・維持を図るために、有機堆肥の連年散布の推進、散布後の適期肥培管理の周知を行う。 並びに適量散布を推進し、散布面積の拡大を図っていく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
36,720	36,720	29,376	7,344	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○要綱に適合する事業者への支出となっていることから妥当である。 ○予算規模は必要量と供給量の比較により妥当である。 ○費目・用途については支出等に関する書類により確認し適正であると考えられる。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊是名村
------	------

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-② 農地の地力強化推進事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-7 ハ 農林水産業の振興に資する事業等
担当部署名	農林水産課	事業実施(予定)年度 令和4~令和8年度	沖縄振興基本方針 該当箇所 Ⅲ-9-(2)

事業内容	浚渫土砂から礫を取り除き、農地へ作土として供給することで地力強化を推進するとともに、資源循環による環境負荷の低減を図る。
------	--

効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)
--------	---

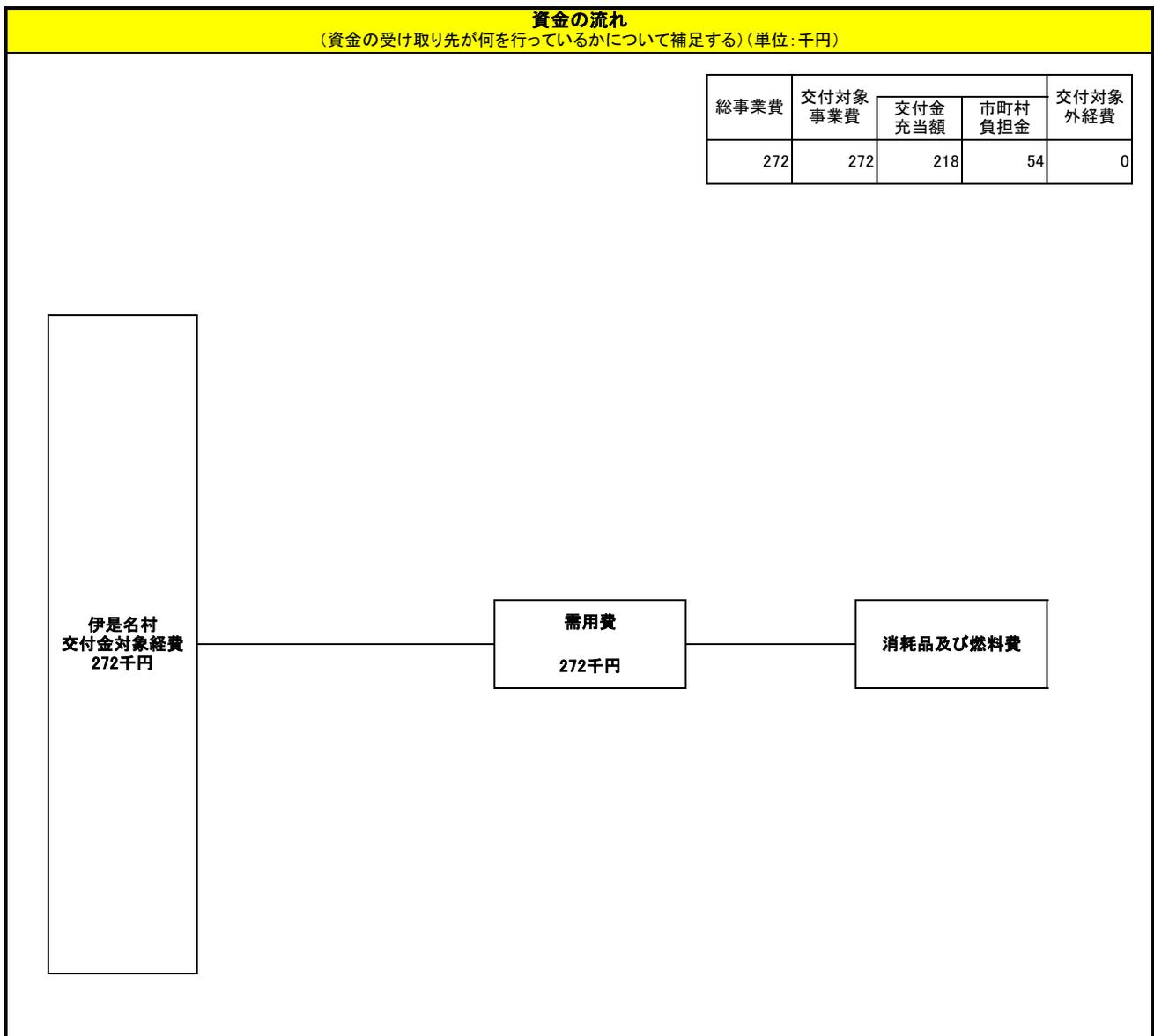
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()
------	--

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額				29,889	10,172
	(b) 予算現額				22,038	304
	(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	▲ 7,851	▲ 9,868
	(d) 繰越額				0	0
	A. 計 (b+d)	0	0	0	22,038	304
	B. 執行済額				21,717	273
	うち交付金充当額				17,373	218
次年度繰越額				0	0	
執行率 (%) (B/A)				98.5%	89.8%	
予算の状況の説明	R4繰越分が7月に完了したことにより、除礫作業が8月以降となったため減額を行った。					

活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況			
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
除礫処理量:7,450㎡	目標	()	()	()	(7,450㎡)
	実績				872㎡
石礫除去機導入の実施	目標	()	()	(備品購入)	()
	実績			バックホウ:1台 ホイールローダー:1台 除礫バケット:1台	
達成状況説明	8月から作業を開始し今年度は1,504.56tで目標の約10%程度となった。				

成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)	基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
		目標	()	()	()	(13,410t)
作土製造量 13,410t	実績				1,504.56t	
	目標	()	()	(備品購入)	()	()
石礫除去機導入の完了	実績			バックホウ:1台 ホイールローダー:1台 除礫バケット:1台		
	進捗状況説明	目標である13,410tに対し今年度は1,504.56tで約10%の達成である。除礫作業を行うにあたり、人手の確保が困難であったことや、草及び木等の伐採に時間を要したため除礫が出来なかった。				

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	作業スケジュールを作成し随時除礫作業を行う必要がある。また、天候に左右されるためそこも考慮し作業を行って行く必要がある。 並びに、製造後の作土を農家へ配布を行って行く必要がある。 R4線越事業において、石礫除去機導入が7月末に完了し、8月以降、石礫除去機を運転できる作業員を雇用する予定であったが人材が確保できなかった。	天候を確認し随時作業を行い目標数値を達成する。 直接雇用による作業員の確保が委託など作業を進めるにあたり検討する。
	今後の取り組み方針	
円滑に除礫作業が行えるよう作業工程を再度見直し効率化を図る。		



資金の 使途の 流れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は本事業の必要経費であり妥当である。 ○予算規模においては不用額等を想定し事業内容に見合った規模に変更し適正に対応した。 ○費目・使途は事業に必要な最小限額である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	